

令和7年度各会計補正予算を含む 議案等15件を慎重審議しました



就任のごあいさつ	2	行政視察来訪	15
各委員会の構成	2～3	議員研修会報告	15
臨時会・定例会	4～6	議会日誌	16
一般質問	7～14	次回定例会予定	16
行政視察報告	15		

令和7年 第四回定例会

議会の構成が決定しました

就任のごあいさつ

市民の皆様には平素より市政並びに市議会に對しまして、特段のご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

このたび私たちは、12月議会におきまして、議員各位のご推挙をいただき、議長並びに副議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄であり、その責務の重大さを痛感するところでございます。

もとより微力ではございますが、執行部との両輪たる議会をとりまとめ、市政発展のため市民の皆様への負託に応えられるよう誠心誠意努めてまいります。

また、議員各位の協力を得ながら、様々な課題に取り組んでまいれる所存であります。今後とも、市議会への一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。



議長 小竹 薫 副議長 端 茂 樹

総務委員会

※令和7年12月16日現在



岡田 正美



鈴木 牧 (副委員長)



浅野 通生 (委員長)



平井 誠



須藤 豊次



原部 司

議会運営委員会

篠島 昌之 (委員長)

原部 司 (副委員長)

野村 貴博

安田 歩

宇梶 浩太

須藤 豊次

※令和7年12月16日現在

広報広聴委員会

端 茂樹 (委員長)

浅野 通生 (副委員長)

塚越 節

程塚 裕行

篠島 昌之

政治倫理推進委員会

平井 誠 (委員長)

斯波 元氣 (副委員長)

鈴木 牧

端 茂樹

宇梶 浩太

塚越 節

文教厚生委員会



太田 富雄



木村 穂摘
(副委員長)



程塚 裕行
(委員長)



篠島 昌之



小竹 薫



宇梶 浩太

経済建設委員会



野村 貴博



安田 歩
(副委員長)



塚越 節
(委員長)



廣瀬 榮



斯波 元気



端 茂樹

このようなことが決まりました

令和7年 第2回臨時会 議決一覧表

事件番号	件名	内容	議決月日 結果
報告第17号	専決処分の報告について「損害賠償について」	除草作業中に係る事故による損害賠償金の支払について専決処分したもの	11.20 報告のみ
報告第18号	専決処分の報告について「損害賠償について」	施設管理に係る事故による損害賠償金の支払について専決処分したもの	11.20 報告のみ
議案第47号	総合体育館屋根改修工事請負契約の締結について	総合体育館屋根改修工事について、締結した仮契約を本契約とするため、議会の議決を求めるもの	11.20 原案可決
議案第48号	令和7年度下妻市一般会計補正予算（第5号）について	映画製作実行委員会補助金1億9,700万円を債務負担行為補正に追加するもの	11.20 原案可決

令和7年 第2回臨時会 賛否が分かれた案件

事件の 番号	野村 貴博	安田 歩	太田 富雄	浅野 通生	木村 穂摘	鈴木 牧	端 茂樹	宇梶 浩太	岡田 正美	塚越 節	程塚 裕行	斯波 元気	小竹 薫	廣瀬 榮	原部 司	須藤 豊次	平井 誠	篠島 昌之	結果
議案第48号	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	-	×	○	可決

※○：賛成 ×：反対 欠：欠席 除：除斥 棄：棄権

※除斥とは、自己の一人に関する事件について議事に参与できないこと

※議長（須藤 豊次）は採決に加わりません

議案第48号 令和7年度下妻市一般会計補正予算（第5号）に対する賛否討論

○前回否決の要因であった財源について、一般財源を一切使わず、企業版ふるさと納税及び協賛・寄付を中心とした特定財源で賄うという明確な計画を評価し賛成する。

○企業版ふるさと納税を活用した映画制作により深刻な若い人材の流出に歯止めをかけたという市長の挑戦は、企業との共通の利害にかなうものであることから賛成する。

○市内2つの高校の生徒たちが中心となって関わるプロジェクトは、未来を担う人材育成と地域への誇りの醸成に直結する。彼らがまちの未来を肌で感じ、創造に参画する教育的効果こそが、卒業しても帰ってきたいと思える若者や関係人口を創出し、長期的な移住定住促進という多岐にわたる効果をもたらすことから賛成する。

賛成

○前回否決の要因であった財源について、一般財源を一切使わず、企業版ふるさと納税及び協賛・寄付を中心とした特定財源で賄うという明確な計画を評価し賛成する。

反対

○映画製作実行委員会補助金1億9700万円は、企業版ふるさと納税を使うから市民の税金は使わない、つまり一般財源は使われないとのことだが、映画制作費に使うなら、その分を物価高騰に苦しむ市民生活を支援すべきで、子育て支援の拡充や高齢者福祉、インフラ整備など市民福祉へ還元できる施策を優先すべきであることから反対する。

○映画制作の予算として、ZOOZOO創業者の前澤友作氏の寄付も含まれている。これは市が提案したふるさと納税の地域資源を生かした観光体験に賛同して頂いた寄付であり、寄付者の意思に添うものではないことから反対する。

このようなことが決まりました

令和7年 第4回定例会 議決一覧表

事件番号	件名	内容	議決月日 結 果
議案第49号	下妻市手数料条例の一部改正について	窓口の混雑緩和とマイナンバーカードの利用促進を目的として、多機能端末機を利用した証明書の交付に係る手数料の額を一定期間減額するため、条例の一部を改正するもの	12.16 原案可決
議案第50号	下妻市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び下妻市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴い、条文の整理を行う必要があることから、関係条例の一部を改正するもの	12.16 原案可決
議案第51号	下妻市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	国の「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準」の一部改正を踏まえ、当該基準に合わせて所要の規定の整備を行うため、条例の一部を改正するもの	12.16 原案可決
議案第52号	下妻市都市公園管理条例の一部改正について	都市公園において物品の販売、撮影、興行等を行う場合及び小貝川ふれあい公園のギャラリーを利用する場合の使用料を新設するほか、一部公園施設の利用時間の変更その他所要の規定の整理を行うため、条例の一部を改正するもの	12.16 原案可決
議案第53号	下妻市水道事業給水条例及び下妻市下水道条例の一部改正について	市長が指定する者による施行を義務付ける水道給水装置工事及び下水道排水設備工事について、指定事業者の不足により災害復旧が長期化した令和6年能登半島地震の事例を踏まえ、災害その他非常の場合には、他の市町村長の指定を受けた事業者も当該工事を行えるようにするため、条例の一部を改正するもの	12.16 原案可決
議案第54号	公の施設（下妻市中心身障害者福祉センター「ひばりの」）の指定管理者の指定について	指定管理者の指定期間終了に伴い、社会福祉法人下妻市社会福祉協議会を指定管理者として指定することについて、議会の議決を求めるもの	12.16 原案可決
議案第55号	公の施設（下妻市福祉センター「シルピア」）の指定管理者の指定について	指定管理者の指定期間終了に伴い、社会福祉法人下妻市社会福祉協議会を指定管理者として指定することについて、議会の議決を求めるもの	12.16 原案可決
議案第56号	公の施設（道の駅しもつま）の指定管理者の指定について	指定管理者の指定期間終了に伴い、株式会社ふれあい下妻を指定管理者として指定することについて、議会の議決を求めるもの	12.16 原案可決
議案第57号	字の区域の変更について	旧千代川中学校跡地における宅地造成事業に伴い、字の区域を変更することについて、地方自治法の規定により、議会の議決を求めるもの	12.16 原案可決
議案第58号	市道路線の認定について	大宝沼ほ場整備事業の完了により移管を受けた49路線及び整理した4路線並びに民有地部分の市道認定の解除に伴い村岡地内の1路線を認定するもの	12.16 原案可決
議案第59号	市道路線の廃止について	大宝沼ほ場整備事業に伴い51路線並びに民有地部分の市道認定の解除に伴い村岡地内の2路線及び別府地内の1路線を廃止するもの	12.16 原案可決
議案第60号	令和7年度下妻市一般会計補正予算（第6号）について	ふるさと納税推進経費の増額等により、8億8,688万8,000円を増額するもの	12.16 原案可決
議案第61号	令和7年度下妻市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	子ども・子育て支援金制度の施行に伴うシステム改修委託料の計上等により、138万円を増額するもの	12.16 原案可決
議案第62号	令和7年度下妻市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について	子ども・子育て支援金制度の施行に伴うシステム改修委託料の計上により、308万円を増額するもの	12.16 原案可決

人 事 議 案			
事件番号	件 名	内 容	議決月日 結 果
議 案 第63号	下妻市及び下妻地方広域事務組合 公平委員会委員の選任について	現下妻市及び下妻地方広域事務組合公平委員会委員である 横田芳宏氏の任期が満了することから、引き続き同氏を委 員に選任することについて、議会の同意を求めるもの	12.16 同意

請 願			
事件番号	件 名	内 容	議決月日 結 果
請願受理 番号 第2号	まちなか再生の中核施設「粉クリ・ ドームしもつま」の安全確保及び 恒久的駐車場整備に関する請願書	当該施設における安全で安定的な駐車場の確保と本市の予 算執行に対し本市議会の厳格な精査を求めるもの	12.16 継続審査

令和7年 第4回定例会 賛否が分かれた案件																			
事件の 番号	野村 貴博	安田 歩	太田 富雄	浅野 通生	木村 穂摘	鈴木 牧	端 茂樹	宇梶 浩太	岡田 正美	塚越 節	程塚 裕行	斯波 元気	小竹 薫	廣瀬 榮	原部 司	須藤 豊次	平井 誠	篠島 昌之	結 果
議 案 第52号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	可決

※○：賛成 ×：反対 欠：欠席 除：除斥 棄：棄権
 ※除斥とは、自己の一身上に関する事件について議事に参与できないこと
 ※議長（須藤 豊次）は採決に加わりません

議案第52号 下妻市都市公園管理条例の一部改正に対する賛否討論

賛成

本案は都市公園において物
品の販売、撮影、興行等を行
う場合及び小貝川ふれあい公
園のギャラリーを利用する場合の使用料を新
設するとともに、一部公園施設の利用時間の
変更、その他所要の規定整備を行うため、条
例の一部を改正しようとするものである。既
にある市民ニーズに応える条例整備であり、
公園の適正な利用環境の確保に資するものが
盛り込まれている。
市内都市公園において、公園利用の活性化
と多様な民間活用の促進が一層努められるよ
う期待し、賛成する。

反対

今般の条例改正は、これま
で約30年間無料としてきた都
市公園における物品の販売、
撮影、興行等を行う場合及び小貝川ふれあい
公園のギャラリーを利用する場合において、
令和8年4月1日から使用料を徴収すること
が含まれている。下妻市の都市公園は下妻市
民のものであり、新たに使用料を課すること
なる本改正に反対する。

令和七年第四回定例会

一般質問通告書

今定例会では、14名の議員から市政各般についての一般質問が展開されました。

要旨は、次のとおりです。

一般質問者の氏名・項目は次のとおりです。
(通告順)

きではないことについて

4 宇梶 浩太 議員

- 1 市内の小・中学校の夏季期間の授業や部活動について
- 2 猛暑の夏が続く中、災害時の避難所にもなり得る小・中学校の体育館の空調導入は喫緊の課題と思われる。

ん放置防止に向けた啓発の刷新・更新、及び街頭での啓発物品配布による市民意識向上策の推進について

8 鈴木 牧 議員

- 1 砂沼サンビーチ跡地の課題と今後について

9 平井 誠 議員

- 1 子育て支援について
- 2 商工業者への支援拡充について

10 浅野 通生 議員

- 1 道の駅しもつまの施設機能について

11 木村 穂摘 議員

- 1 「令和の米騒動」を受けた食の危機管理について
- 2 しもつま中央工業団地を生かした地域発展と住民参画について

12 斯波 元気 議員

- 1 地域交流文化センターについて
- 2 消防団詰所について
- 3 おむつ代の助成について

13 小竹 薫 議員

- 1 高齢者・障害者福祉について

14 野村 貴博 議員

- 1 坂東市で発生した火災の報道を受けて本市での現況確認と対策について
- 2 葬法問題について（土葬等）
- 3 学校再編について

1 太田 富雄 議員

- 1 避難所（体育館）のエアコン設置状況について
- 2 マイナンバーカードについて

2 塚越 節 議員

- 1 「下妻市庁舎周辺エリア整備」プラン作成の進捗並びに「地域交流センター」の建設の可能性について
- 2 「道の駅しもつま」の現状と改善問題、なかならずく駐車場問題について

3 岡田 正美 議員

- 1 菊池博市長の市政運営の総括と今後について
- 2 工業団地造成、企業誘致の経過や現状と財政面での見通しについて
- 3 埋蔵文化財が土地取引や開発に対して知見外の疎外をすべ

7 安田 歩 議員

- 1 市内2つの高校との短編映画製作事業からの若者の内発的なシビックプライドの醸成と若者の声からの政策立案に資する仕組みづくりについて
- 2 ごみのポイ捨て、ペットのふ

6 端 茂樹 議員

- 1 指定管理者制度における管理運営評価制度の導入について

※インターネット映像配信サービス「YouTube」を利用して一般質問の録画配信をしております。

下妻市議会 録画配信

検索

一般質問のYouTube録画配信





おたみ 太田富雄 議員

〔二括方式〕



避難所（体育館）のエア
コン設置状況について

質問

近年の温暖化現象により、災害時の避難所として体育館等が使用されているが、近隣自治体の体育館のエアコン設置状況を伺う。また、本市の災害時に使用できる体育館の場所、及び空調設備の設置が完了している体育館を伺う。

答弁

体育館の空調設備は、施設全体を冷やす大型空調設備と、局所的に冷風を送る小型スポットクーラーに分類される。筑西市では、避難所に指定されている体育館25か所のうち、大型空調設備の設置が1か所、小型スポットクーラーの設置が6か所である。常総市では、指定体育館25か所のうち、大型空調設備の設置が5か所、小型スポットクーラーの設置が1か所である。



LIXIL下妻総合体育館の大型空調設備

本市の基幹避難所14か所のうち、やすらぎの里しもつま以外の13か所は、LIXIL下妻総合体育館及び市立小・中学校12校である。小・中学校については体育館への避難を想定しているが、これらの体育館は災害の種類によって使用の可否が異なる。このため、小貝川の洪水時は東部中学校と高道祖小学校を、鬼怒川の洪水時は千代川中学校を、土砂災害時は大宝小学校を避難所から除くこととしている。

空調設備については、LIXIL下妻総合体育館に大型空調設備を設置しているほか、下妻中学校及び千代川中学校の体育館に小型スポットクーラーを設置している。さらに、本年度中に市立小・中学校の全ての体育館へ小型スポットクーラーを設置する予定である。



つかし 塚越 節 議員

〔一問一答方式〕



「下妻市庁舎周辺エリア整備」プラン作成の進捗並びに「地域交流センター」の建設の可能性について

質問

令和2年1月の市民文化会館閉館から6年が経過したが、文化会館に準じたホールを含む施設について、いまだ具体的方針が示されていない。現状、文化活動施設が長期にわたり不在であることは、市民に不利益を被らせている。そこで、地域交流センターの建設について、現時点での市長の見解を伺う。

答弁

地域交流センターの建設は、庁舎周辺エリアビジョンの重要な要素であり、整備の必要性については前向きに捉えている。一方で、今後の人口動態や財政見通し、公共施設再編を総合的に勘案すると、従来どおりの大きな施設をそのまま建て替える発想や、既存施設をきれいに直し

て使い続けるという考えは、将来の需要に見合わず、持続可能性に欠けると判断している。重要なのは施設規模の維持ではなく、市民に将来にわたり愛され、機能的で持続可能な施設とすることである。

市民文化会館は建物自体の老朽化が深刻であり、耐震改修など必要最低限の対応を行ったとしても、数年ごとに大規模改修が不可欠となることが見込まれるため、解体する方針である。市民会議の検討を踏まえ、庁舎周辺エリア整備基本計画等の中で、地域交流センターの目的や位置づけ、おおむねの規模、機能のイメージ、そして整備に向けたスケジュール感を早期に示すとともに、「未来の景色をかえる場へ」というビジョンを達成するために、具体的な検討を鋭意進めていく。



庁舎周辺エリアビジョンの実現に向けて、今後具体的方針を示していく



おかだまさみ
岡田正美 議員



動画はこちら↓
（一括方式）

菊池博市長の市政運営の総括と今後について

質問 菊池市長による8年間の市政運営を振り返っての総括と、今後について伺う。

答弁 2018年に市長に就任して以来、スピード感と選択と集中をもって行政課題に取り組み、間もなく2期目の任期満了を迎える。この間、デジタル化が進む一方、人口減少や少子高齢化、温暖化による気候変動、災害の激甚化など、様々な課題が浮き彫りとなった。

必要な施策を進めるには財源の確保が不可欠であることから、ふるさと納税の推進に注力し、市長就任前は年間約1400万円だった寄付額を、昨年度には17・1億円へ増加させ、中学校給食費の無償化の実現などに活用することができた。また、工業団地では大手



「選ばれるまち」実現のため今後も魅力あるまちづくりの推進に努める

優良企業の誘致に成功し、定住促進や税収増、雇用創出が見込まれる。今後は、物価高騰対策や子育て体制の拡充、教育環境の充実、防災対策の強化、農業振興など、市民生活の向上につながる施策を展開していきたい。あわせて、人口減少の緩和や住宅政策、本市の認知度、イメージの向上に努め、魅力あるまちづくりを推進していく決意である。引き続き住み続けたい、選ばれるまちの実現に向け、市政のかじ取りを担うべく、一つの課題に真摯に向き合い、着実に市民生活の向上のためチャレンジ続けていきたい。



うかじこうた
宇梶浩太 議員



動画はこちら↓
（一括方式）

猛暑の夏が続く中、災害時の避難所にもなり得る小・中学校体育館の空調導入は喫緊の課題と思われる。

質問 災害時の避難所にもなり得る市立小・中学校の体育館の空調設備導入について、本市の方向性を伺う。

答弁 近年、県及び県教育委員会から、小・中学校体育館等への空調設備の設置について働きかけを受けている。小・中学校体育館の空調設備は、児童生徒が安全・安心な環境で体育の授業や部活動を行うため必要な設備であると認識している。

空調設備が使用できれば、暑い時期でも外気温に左右されず計画的に体育の授業を行えるため、年間の授業計画を円滑に進めることができる。



下妻中学校及び千代川中学校に設置された小型スポットクーラー

さらに小・中学校体育館、特に中学校体育館は、最も暑い時期である夏休み期間中も部活動で使用しているほか、基幹避難所の中で中心的な役割を担う施設であることから、できる限り早期に空調設備を設置したい。しかしながら、現時点では全ての市立小・中学校体育館だけでなく、大部分の小学校特別教室においても空調設備が未設置となっている。引き続き財源の確保に努めながら、計画的に学校施設への空調設備の設置を進めていく。



原部 司 議員
はらべ つかぎ
〔二括方式〕



スマート農業への取組
について

質問 スマート農業技術活用促進法が施行されて1年が経過したことから、内容について伺う。また、本市におけるスマート農業の取組状況及び支援体制について伺う。

答弁 スマート農業技術活用促進法は、新たな農業の持続的な発展に関する施策で、生産者、農機具メーカー及び大学等が認定計画書を農林水産省に直接申請し、認定を受ける新たな支援制度である。都道府県や市町村が直接関与する制度ではないが、スマート農業の導入時に長期低利融資などを受けられる支援措置が追加されるなど、より取り組みやすい環境が構築された。認定計画には、新たな生産方式の導入計画を策定する「生産方式革新実施計画」

と、技術開発や普及の計画を策定する「開発供給実施計画」がある。本市の生産者の一部では、活用促進法の施行前から農作業効率化等を目的に、スマート農業に係る技術を活用した農業機械の導入を進めており、市が把握している導入状況は、補助事業以外で導入されたものを含め、農業用ドローン16台、汎用型自動操舵システム15台、ロボットトラクター1台、収量コンバイン1台である。また、ICTによりサポートする営農管理システムは10経営体で導入実績がある。

今後も国の制度を積極的に活用し、本市の認定農業者への周知を行うとともに、助言や普及啓発を図り、補助事業の活用と併せてスマート農業の推進に努める。



今後も国・県の制度や補助事業等の助言及び普及啓発を図っていく



端 茂樹 議員
はた しげき
〔二問一答方式〕



指定管理者制度における管理運営評価制度の導入について

質問 本市は多くの公共施設で指定管理者制度を活用しているが、管理運営状況を客観的かつ継続的に評価し、サービス向上及び適切な監督責任を果たすための明確な評価制度の整備が不十分である。そこで、公平性・透明性の高い評価制度の導入並びに評価基準について、市の見解を伺う。

答弁 本市では、指定管理者の指定期間における施設の適正な管理確保のため、月報などの報告書を受けて管理状況を把握するとともに、利用者からのヒアリングや指定管理者との協議を行い、施設のサービス向上や改善に一定の機能を果たしていると考えられる。一方、ヒアリングなどは、

個々の施設ごとに所管課の裁量により実施しているものであり、あらかじめ評価基準や評価指標などを示しているものではないことから、全庁的、統一的な評価を実施していると言える状況ではない。評価の目的は、次期指定に係る判断材料、市民サービスの維持向上及び財政負担の検証などであり、これらの目的を達成する上で、評価制度は有意義なものであると考える。

議員提案の全体的かつ総合的な評価基準は、本市が指定管理者制度に評価制度を導入した場合には最も基本となるものである。今後、他自治体の例などを参考に調査研究をしていく。

指定管理者制度とは

「公の施設」の管理に民間事業者等の有するノウハウを活用することにより、多様化する住民ニーズに効果的・効率的に対応していくことを目的とした制度で、下妻市では「道の駅しもつま」や「ピアスパークしもつま」などの施設で指定管理者制度を導入し、施設の管理運営を行っています。





やすだ あゆみ
安田 歩 議員



動画はこちら↓
「一問一答方式」

ごみのポイ捨て、ペットのふん
放置防止に向けた啓発看板の
刷新・更新、及び街頭での啓発
物品配布による市民意識向上
策の推進について

質問

ごみのポイ捨て、ペ
ットのふん放置防止に向け
た注意喚起看板のデザインを定期
的に更新することで、啓発効果の
維持向上を図ることを求める。さ
らに、散歩時間帯に啓発物品を直
接配布する取組により、看板以上
の効果と対面による意識醸成を期
待し、積極的な導入を求める。

答弁

ごみのポイ捨ては、ペ
ットボトルやたばこの吸
い殻などの廃棄物を公共の場所や
他人の土地に捨てる行為であり、
景観を損ねるとともに、環境の悪
化や土地管理者への負担を強いる。
対策として、啓発看板などで注意
喚起を行い、ポイ捨て禁止の意識
を高めることは重要である。本市



本市で配布している啓発看板

では、8種類の啓発看板を用意し、
状況に応じたデザインを無償で配
布している。看板のデザインや文
言を更新することは、「皆が注視
している」というメッセージの再
発信につながり、心理的抑止力と
して有効と考えられるため、今後、
他市町村の啓発方法なども参考に
しながら、調査研究していく。

看板以外のマナー向上策として、
市ホームページでの啓発や、年1
回の狂犬病予防注射済票の交付時
に飼育マナーに関するチラシを配
布している。今後は、飼い主のマ
ナー向上として犬の散歩時間帯に
啓発物品を配布するなど、看板以
外の効果的な施策も検討していく。



すずき まき
鈴木 牧 議員



動画はこちら↓
「一問一答方式」

砂沼サンビーチ跡地の
課題と今後について

質問

砂沼サンビーチ跡地へ
の民間活力の導入と、今
後の方向性および具体案について、
市の見解を伺う。

答弁

民間活力の導入の仕方
については、民間事業者
からの提案内容に応じて、指定管
理者制度や設置管理許可制度、P
FI、コンセッションなど、複数
の手法を組み合わせることも検討
可能である。本市としても、茨城
県と協力し、民間事業者との協議
の中で、これらの手法を丁寧に説
明し、実現可能性の高いスキーム
を検討しているところである。

今後の砂沼サンビーチ跡地の方
向性については、かつて茨城県の
公募において事業候補者として選
定されたしもつま・まちづくり公
社が辞退した経緯を踏まえつつ、



閉鎖から約7年が経過した砂沼サンビーチ跡地

引き続き、県と協議しながら、新
たな民間事業者の探索に加え、こ
れまでの民間事業者ヒアリングで
得た知見などを踏まえた公募条件
の見直しを検討するなど、新たな
交流拠点として再生されるよう、
砂沼サンビーチ跡地の利活用に取り
組んでいく。

市としては、実証事業などによ
る段階的な利活用などを含め、あ
らゆる可能性を検討し、積極的に
砂沼サンビーチ跡地利活用を推進
していく。



平井 誠 議員
（一括方式）



商工業者への支援拡充
について

質問 市独自のプレミアム商
品券の発行と住宅リフォ
ーム資金補助事業及び商工業者支
援事業の拡充を求める。

答弁 本年度は、国の臨時交
付金を活用し、物価高騰
対策支援券発行事業並びに中小企
業等光熱費高騰対策支援事業に取
り組んだ。物価対策支援券は、令
和7年9月末現在で1億73万円相
当の金券が市中に流通している。
また、中小企業等光熱費高騰対策
支援事業は、市内の中小企業等2
16事業者から申請があり、25
85万円の支援金を交付した。さ
らに10月には、乳幼児・小学生子
育て世帯物価高騰対策支援券配付
事業に取り組み、2309万円相
当の金券が市中に流通した。住宅
リフォーム資金補助事業は、市内

施工業者への支援を目的として、
工事費の10%、最大10万円を住宅
所有者へ補助しており、12月1日
現在で32件の申請を受け付けてい
る。

今後も国において進めている物
価高騰対応重点支援地方創生臨時
交付金の拡充の動向を注視しつつ、
市民に寄り添った施策の実施に向
け、調査、検討していく。

また、商工業者支援事業につい
ては、自治金融・振興金融事業、
空き店舗活用企業・コミュニティ
活動支援補助金、伴走型小規模事
業者支援推進事業などを実施して
いる。引き続き、関係機関と連携
し、近隣自治体の施策を参考にし
ながら、適切な事業の推進が図れ
るよう努める。



令和7年度に実施された一部物価高対策事業
※上記写真の事業は現在終了しています



浅野通生 議員
（一括方式）



道の駅しもつまの施設
機能について

質問 道の駅しもつまの施設
機能改善工事により、店
舗前に外通路の日よけ屋根が設置
された。正面からの数寄屋造りの
屋根が隠れ、魅力を損なっている
との声がある。外観との調和を図
った上での建設なのか、設置目的
と整備費用について伺う。また、
中庭を改良して増やした店舗につ
いて、その設置目的、設置後の利
用状況、整備費用について伺う。

答弁 道の駅しもつま正面玄
関のひさし状のアーケー
ドは、利用者の雨よけ、日よけの
ために設置したものであり、滞在
時間の延長と利便性の向上を目指
したものである。既存屋根と当該
アーケードの高さや離隔について
は、県西県民センター建築指導課
の指導・助言を受け、アーケード

としての機能を確保しつつ設計を
行った。整備費用は、総額410
3万円である。

中庭販売施設は、建物左手側の
総合案内所、レストラン、物産館
の間にある利用されていない中庭
スペースに、新たな販売スペース
を設置し、施設全体の誘客、収益
の向上を図ることを目的として設
置したものである。設置後は主に
土曜・日曜・祝日にイベント開催
やスイーツ販売を行っており、令
和7年4月から9月までの売上げ
は約285万円で、収益の向上に
寄与している。整備費用は、総額
3917万1千円である。



道の駅しもつまのアーケード屋根



木村穂摘 議員
きむら ほづみ

〔一括方式〕

動画はこちら↓



しもつま中央工業団地を生かした地域発展と住民参画について

質問 しもつま中央工業団地における工場建設時及び操業開始後、通勤車両や物流車両の増加による周辺道路の渋滞緩和に向けて、本市としてどのような対策を講じる計画か伺う。特に通学路や生活道路における交通安全対策について、本市の見解を伺う。あわせて、企業と検討している誘客施設について、どのような施設を想定しているのか伺う。

答弁 しもつま中央工業団地では、造成工事の段階から、将来の交通量増加や通学路の安全を見据えた対策工事を実施している。具体的には、国道294号からのアクセスを2か所とし、右折レーンの滞留長の延長などの交差点改良工事を実施している。あわせて、市道5596号線の拡

幅工事を実施するとともに、市道5303号線については東部中学校の通学路であることを踏まえ、車道幅員の拡幅、歩道・ガードレール・道路照明灯の新設などの安全対策工事を実施している。これらにより、工事中及び操業開始後の安全性の向上と円滑な交通の確保が図れるものと考えている。なお、着工前には誘致企業や工事請負業者と、車両の進入経路や走行時間帯、交通誘導員の配置などについて協議し、必要な措置を講じる。また、操業開始後も交通状況を注視し、必要に応じて追加対策を検討・実施していく。

さらに、団地内に創設した緑地・調整池約5haを活用した誘客施設等の整備を検討している。現在、開発公社と誘致企業3社との協議を踏まえながら、基本構想を策定している。



緑地・調整池の利活用について、基本構想の具体化を図っていく

地域交流文化センターについて

質問 市民文化会館を解体する方針であるが、新たな地域交流文化センター等の整備について、考えられる最短のスケジュール、建設地、設備に関する市の見解を伺う。

答弁 「下妻市庁舎周辺エリアビジョン」に基づき、エリア整備の基本計画を策定中であり、市民会議や社会実験イベントを通じて機運醸成を図っている。文化振興や市民活動の拠点となる地域交流センターを求める声がある一方、財政負担を懸念する意見もあり、市は財政状況や政策の優先順位を踏まえ、検討していく。建設を決定した場合は、基本構想、基本計画、基本設計、実施設計を経て工事に着手となり、市庁舎建設においては、基本構想の着手か



斯波元気 議員
しばもと けんき

〔一問一答方式〕

動画はこちら↓



ら着工まで約4年を要した。地域交流文化センター建設についての申し入れ書にある、日本庁舎跡地を建設地とする提案は一つの意見として尊重しつつ、建物の配置や屋外空間を含め、エリア全体を一体的に捉え、高質な空間となるよう配慮することが重要である。

地域交流センターの設備については、建設が決定し具体的な検討を進める段階となった場合、お寄せいただいた意見を尊重し、総合的に判断していく。



財政・政策の優先度などを勘案し、地域交流センターを検討していく

高齢者・障害者福祉について



こたけ かのる
小竹 薫 議員



動画はこちら↓
（二括方式）

質問 本市における65歳以上の超老老介護、認知症同士の認知介護の現状を伺う。あわせて、介護保険の負担限度額認定や税の障害者控除に関する手続きについて、申請者が困惑しないよう、課をまわりたい窓口のワンストップ化は可能か、市の見解を伺う。

答弁 超高齢社会の進展により、介護する側、される側ともに高齢化している。令和2年国勢調査では、夫婦ともに65歳以上の世帯数は1519世帯で、全世帯の約9.3%である。老老介護、超老老介護、認知介護については統計は取っていないが、誰にでも起こり得る社会的課題と認識している。地域包括支援センターに寄せられた介護保険関連の相

談件数は令和6年度に181件、延べ1573件で、本人に限らず別居の家族や民生委員などからも相談があり、引き続き丁寧に対応し、地域全体で支え合う体制づくりを支援する。

介護保険の負担限度額認定と税の障害者控除等は所管や制度が異なるため、窓口一体化は現在のところ難しい面がある。一方で、関係課の連携を強化し、分かりやすい情報提供と丁寧な窓口対応に努める。窓口業務を包括的に担う部署の設置については、利便性向上の観点から有効な手法であると認識しているが、組織体制や人員配置など整理すべき課題も多い。先行事例等を検証し、市庁舎1階フロアにおけるワンストップ総合窓口設置について調査研究していく。



市役所1階フロアの各課窓口

葬法問題について（土葬等）



のむらたかひろ
野村 貴博 議員



動画はこちら↓
（一問一答方式）

質問 宗教的理由により土葬を希望する外国人住民が全国的に増加しているとされる中、本市及び近隣市町における土葬墓地の設置状況を伺う。また、制度上の課題や問題点、衛生・環境面のリスク、さらに、これまで土葬に関する相談・要望があったかについて伺う。

答弁 本市に土葬墓地の設置はないが、茨城県内では、常総市内及び小美玉市内の2か所に設置されている。

埋葬、焼骨の埋蔵は、墓地、埋葬等に関する法律により、墓地以外の区域に行ってはならないと定められており、都道府県知事、または権限移譲を受けた市町村が条例等に基づき許認可を行う。本市は県からの権限移譲により、下妻

市墓地、埋葬等に関する法律施行細則及び下妻市墓地等経営許可事務処理要領に基づき、墓地行政を執行している。制度上、墓地の設置場所の基準として、国道等の主要道路、鉄道、河川、学校、病院または人家から100m以上離れていること、土地が高所で乾燥し、飲料水を汚染するおそれがないことを定めている。土葬については、環境衛生面や地下水への影響が懸念され、近隣住民の心理的不安があることを認識している。

土葬に関する相談や要望は、令和6年度に県外の外国籍と思われる方から「市内に墓地を新設したい」との相談があったが、当該土地が要件を満たさなかったため、継続した相談にはなっていない。



本市では現在土葬墓地の設置及び継続的な相談・要望なし

行政視察報告

今後の議員活動に役立てていきます

議会運営委員会

- 日程 10月27日～10月29日
- 内容

- ・ 新真和志複合施設事業について (沖縄県那覇市)
- ・ 那覇エコアイランドについて (沖縄県那覇市)
- ・ 平和推進事業、平和教育について (沖縄県糸満市)

那覇市の新真和志複合施設建設事業は、老朽化した庁舎、公民館、図書館、福祉施設を複合化し、敷地の一部を有償貸付して、民間がカフェテリア、保育施設、クリニック等を整備する官民連携事業です。相乗効果により地域コミュニティの新たな拠点とし、施設を中心にまちづくりを進めて社会課題の解決を図ることを目的としています。住民説明会を重ね市民のニーズに応えようとする姿勢は重要であると感じました。

那覇エコアイランドは、一般廃棄物海面最終処分場として適正処理と資源循環に貢献し、周辺海域

の環境保全に配慮した、観光県ならではの施策であり、ごみ資源に対する市民意識の向上の必要性を再認識しました。

糸満市は、戦争遺構や慰霊塔を背景に平和事業、語り部育成、戦争遺構の保存活用に積極的に取り組む一方、担い手不足や民有地の遺構が多いなど課題に向けた模索が続いていました。平和教育では、平和都市宣言理念の実現に向け、小・中学生が主体的に学べる機会を整えていました。

本市でも非核平和都市として、平和事業の推進に取り組んでいく必要性を感じました。



議会運営委員会の行政視察の様子

行政視察来訪

福岡県筑紫野市議会

- 日程 10月21日
- 内容 農機シェアリングサービスについて

福岡県筑紫野市議会建設環境常任委員会が行政視察のため、本市を訪れました。

視察内容に基づき、農業政策課より、農機シェアリングサービスについて説明後、活発な質疑応答が交わされました。

長野県小布施町議会

- 日程 11月4日
- 内容 避難所体育館施設等の空調設備の予算・補助金について

長野県小布施町議会が行政視察のため、本市を訪れました。

視察内容に基づき、生涯学習課より、避難所体育施設等の空調設備の予算・補助金について説明後、活発な質疑応答が交わされました。

茨城県市議会議長会 第1回 議員研修会報告

令和7年11月14日、茨城県市議会議長会主催による、令和7年度第1回議員研修会が、土浦市のホテルマロウド筑波で開催されました。下妻市議会からは安田歩議員、太田富雄議員、木村穂摘議員、岡田正美議員が参加しました。

この研修会では、(株)廣瀬行政研究所代表取締役、明治大学政治経済学部講師、廣瀬和彦氏を講師として、「議会におけるコンプライアンス」というテーマで講演が行われました。



議会日誌

11月

4日 行政視察来訪（長野
県小布施町議会）

5日～6日 茨城県西市議会議長
会第2回定例会・視
察研修

14日 茨城県市議会議長
会第1回議員研修会

20日 第2回下妻市議会臨
時会
全員協議会
議会運営委員会
議会運営委員会

12月

3日～16日 第4回下妻市議会定
例会

3日 本会議 議案上程、
説明

4日 本会議 議案質疑
総務委員会
文教厚生委員会
経済建設委員会
予算特別委員会

11日 本会議 一般質問
12日 本会議 一般質問
16日 本会議 委員長報告、
質疑、討論、採決、
閉会

15日 茨城県市議会議長
会
事務局局長
茨城県西市議会議長
会事務局局長
第1回下妻市議会臨
時会

1月

20日 第1回下妻市議会臨
時会
全員協議会
議会運営委員会
第2回広報広聴委員
会

23日 行政視察来訪（沖縄
県那覇市議会）
茨城県市議会議長
会定例会

次回 第1回定例会予定

月日	曜日	日 程
2月24日	火	本開 会 議 会 (会期の決定・諸報告・議案上程、説明)
2月25日	水	本 会 議 (議案質疑) 常任委員会 (総務委員会)
2月26日	木	休 会 常任委員会 (文教厚生委員会)
2月27日	金	休 会 常任委員会 (経済建設委員会)
3月2日	月	休 会 予算特別委員会 (補正予算・当初予算)
3月3日	火	休 会 予算特別委員会 (当初予算)
3月4日	水	休 会 予算特別委員会 (当初予算)
3月6日	金	本 会 議 一般質問
3月9日	月	本 会 議 一般質問
3月12日	木	本 会 議 (議案及び請願・陳情に対する委員長 報告、質疑・討論・採決) 閉 会

※会期日程は、都合により変更になることがあります。

議会を傍聴しませんか

令和7年第4回定例会では、59名の方の傍聴がありました。

市議会では皆様の傍聴をお待ちしています。傍聴は、市議会活動に触れる良い機会です。自分が選んだ議員の活動や市政の方針などを知ることができます。

傍聴をご希望の方は、議会開催日に庁舎4階議場までお越しください。

なお、議場内での飲食・雑談等をご遠慮ください。

次回の市議会だよりの発行は令和8年5月10日(日)の予定です。

議会だよりへのご意見などございましたら、下記連絡先までお寄せください。

問合せ先
議会事務局 (0296)43-8364



編集後記

令和7年第4回定例会の内容を中心に、新たに決まった各委員会の構成等をお届けしました。

今号は、新たな広報広聴委員による初めての「市議会だより」です。委員一同、市民の皆様に、より一層市政について関心をもっていただける紙面づくりを目指してまいりますので、よろしくお願いたします。



広報広聴委員会

- ◎委員長 端 茂樹
- 副委員長 浅野 通生
- 委員 塚越 裕行
- 程塚 昌之
- 篠島 節

